

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗1,282	645	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 44	43	ヘルパンギーナ	↗ 6	1
咽頭結膜熱	↘ 39	47	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 0	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘108	115	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘688	736	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 15	27
水痘	↘ 56	98	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 37	24	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 1	4	マイコプラズマ肺炎	→ 0	0
突発性発しん	↘ 26	31	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 2	2

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池、八代、宇城
- インフルエンザ : 山鹿、菊池

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフル	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	289	7	10	32	124	9	15	1	12	0	2	0		12		1			1
山鹿保健所	105	1	0	0	79	3	0	0	1	0	0	0	*	*					
菊池保健所	250	11	21	33	129	22	4	0	3	0	1	0		1					
阿蘇保健所	35	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	0	*	*					
御船保健所	23	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	*	*					
八代保健所	202	4	1	5	62	1	3	0	3	0	0	0							
水俣保健所	9	1	0	3	10	1	0	0	0	0	0	0	*	*					
人吉保健所	91	10	0	7	45	4	5	0	1	0	0	0	*	*					
有明保健所	54	4	2	7	99	5	0	0	2	0	0	0							1
宇城保健所	163	5	4	20	83	8	8	0	1	0	0	0	*	*					
天草保健所	61	1	1	0	24	3	2	0	3	0	3	0		2					
計	1282	44	39	108	688	56	37	1	26	0	6	0	0	15	0	1	0	0	2

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	1282	10	14	66	90	77	77	99	97	91	66	69	158	37	53	95	82	48	23	20	10
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	44	2	14	19	5	3				1											
咽頭結膜熱	39	1	2	11	6	2	2	4	2	2	3		4								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	108			5	3	14	16	14	12	24	10	1	8		1						
感染性胃腸炎	688	3	35	104	72	50	50	39	39	30	21	28	113	26	78						
水痘	56	3	7	12	10	7	4	5		3	2	1	2								
手足口病	37	1	2	15	13	5	1														
伝染性紅斑	1												1								
突発性発しん	26	1	12	10	2	1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	6		2	4																	
流行性耳下腺炎	0																				
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	15				1							1		2	1	1	2	3	2	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1											1									
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	1	1																		

今週のインフルエンザ報告数は1,282件と、注意報の基準値を超えました。  
 週の645件から約2倍に増え、本格的なインフルエンザシーズンを迎えました。地域別では、山鹿、菊池が注意報の基準値を超えています。また、八代、宇城、人吉、阿蘇、熊本が注意報の基準値を超えています。

インフルエンザが注意報レベルを超えました

インフルエンザにかかると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど、重症になることがあります。



~インフルエンザにかからないために~

- 1.外出後の手洗い**  
流水・石鹸による手洗いはインフルエンザウイルスを除去するために有効な方法です。アルコールによる消毒はウイルスに対して効果が高いですが、アルコール製剤による手指衛生も大切です。
- 2.咳エチケット**  
インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴(飛沫)による飛沫感染です。飛沫感染対策としては、普段から咳エチケットを守ることが大切です。  
 ①咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと。  
 ②咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。  
 ③手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと等)を守る  
 飛沫感染対策では感染者がマスクをする方が、感染を抑える効果は高いと言われています。
- 3.十分な休養とバランスのとれた栄養摂取**  
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。
- 4.人混みや繁華街への外出を控える**  
インフルエンザが流行してきたら、特に御高齢の方や基礎疾患のある方、妊婦、疲労気味、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

